



1 1 月 3 日

聖マルチン・デ・ポレス修道者 祝日

聖マルチンは 1579 年リマにおいてスペイン人貴族の父と黒人の解放奴隷の母から生まれました。最初その小さな家族は父から見捨てられていた。マルチンの幼い頃は悲惨な貧しさのうちに過ぎたが、後に父ホアン・デ・ポリスは悔い改め、二人の子供たちを引き取って初等教育を授けた。

家族はマルチンが 12 歳の頃、外科医として修業させるため、医者のところへ見習いに行かせた。医療技術を学んだマルチンは病者を癒し、慰める生涯の第一歩を踏み出した。それは、裕福なスペインの人々だけでなく、貧しいインディアンの農夫にいたるまですべての病人を治療し、犬猫の動物までも傷の手当てをした。

15 歳でリマのドミニコ会、聖ロザリオ修道院に行き「信徒会員」すなわち第三会の奉仕人として受け入れられ、この立場で修道院の最も低い務めに専念。貧しい人たちが安心して治療を受けられるようにと、彼は玄関番兼掃除人の役目を引き受けた。院長は彼のうちに誰の目にも明らかな善意と聖性を見出し、助修士として荘厳誓願を立てることを認めた。マルチンは、病人を扱う術と貧者への愛徳以外にも修道生活における苦行の精神、徹底的な貧しさ、それに並外れた従順において際立っていた。

彼は十字架につけられたイエズスに対して深い崇敬心を抱き、贖いの無限の恵みに対して、何か小さな方法で応えたいと切望していた。1639 年 11 月 5 日帰天。

1962 年 5 月 5 日、教皇ヨハネ 23 世により列聖され、アメリカ大陸から出て聖人の列に加えられた最初の黒人となった。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982 年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984 年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006 年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から